

JSUG テクニカル部会 JAVAスタック研究WG 2009年活動計画(案)

2009年4月20日

JSUGテクニカル部会 JAVAスタック研究WG
ベニックソリューション株式会社 石原 美彦
住商情報システム株式会社 長谷川 敦
SAPジャパン株式会社 ???



-  *Network*
-  *Education*
-  *Influence*

Agenda:

テクニカル部会 JAVAスタック研究WG 2009年活動計画(案)

1. 活動計画の骨子
2. 活動計画スケジュール案

参考資料: NWDI導入のステップ

付録: JAVAスタック研究WG 活動のご紹介



1. 活動計画の骨子

SAPシステムで提供されるJAVAスタックは、次々と新しい要素技術が追加されている状態(進化している途上である)であり、システム管理方法が確立されていない状況である。一方、SAPシステムは基幹系システムとして稼動することが多く、安定稼動が要求されるシステムである。

これらのことより、SAPのJAVAスタックの機能を正しく理解し、システムを安定稼動させるための管理方法を確立する必要がある。また、2008年12月に実施されたJSUGテクニカルフォーラムでの「NetweaverのJavaスタックを管理するためには」では関係者の関心が高いことも確認でき、JSUGのWGとして活動を行い、同じ課題を持っているメンバーで検討を行っていきたい。



1. **活動計画の共有:**
数多くのシステム管理項目の内、システムの安定稼動という面より各項目のプライオリティ(A~Cランク程度?)を検討し、本WGで取り扱う議題およびマイルストーンについてWG参加メンバーで協議し、WG内で共有を行う。
⇒マイルストーンは複数年にわたる可能性あり?
2. **成果物の共有:**
本WGの成果物はJSUGメンバーで共有する。

1. 活動計画の骨子

(つづき)

3. JAVAスタック管理の基本の「き」:

ABAPに比べてJAVAスタックに関するシステム管理の基礎知識は不足していると考えられる。そこで、本WGを進めるために必要な基礎知識を学ぶ。これにより、WGの円滑な運営を実現するためのWGメンバーの知識レベルの均等化を実現する。

(目標)

- ・少なくともJAVAスタック用語の意味を正しく理解できるようになる
- ・SAPの製品でJAVAスタックが必要なアプリケーションは？
 - ・普通のJ2EEとSAPのJAVAスタックの違いを理解できるようにする

(方法例)

- ・システム管理（ADM200やADM325等）のエッセンスを説明いただく

4. ケーススタディの実施：

JAVAスタックでプライオリティが高いシステム管理項目に対するケーススタディを行い実体験し、システム管理のモデル化したものを成果物とする。

例えば変更管理をケーススタディした場合、

- ・JAVAスタック上でWebシステムを開発する場合の流れ（プロセス）を整理する
- ・NWDIを利用した場合としない場合の違いは？
- ・架空システムに対する設計（ソフトウェア構成や命名規則、変更物のリリース単位など）
 - ・上記で設計した内容の実装

を実施する。

1. 活動計画の骨子

(つづき)

5. テクニカルフォーラムの準備:

テクニカルフォーラムで以下の内容が発表できるように準備を行う。

- ・本WGの活動内容の紹介

- ・皆さんが興味があると考えられるトピックについての紹介

(2008年に実施したものの「パフォーマンスチューニング編」や「ユーザ管理編」とかがいいか?)

6. 2009年の目標:

まずは、JAVAスタック管理の基礎を固め、少なくとも1項目のケーススタディは行い、JSUGメンバーでの成果物共有を行う。

⇒2010年以降にもつながるような活動を開始したい

2. 活動計画スケジュール案

[WGの実施スタイル]

SAP(東京)にて月1回、4時間(13時～17時)のWGを1年継続。
各回の開催内容(案)については以下の通り。

[現在の開催(案)]

第1回 4月22日	活動計画の共有	打合せ
第2回 5月27日	JAVAスタックの基礎①	講義形式
第3回 6月24日	JAVAスタックの基礎②	講義形式
第4回 7月29日	変更管理のモデル作成①	ケーススタディ
第5回 8月26日	変更管理のモデル作成②	ケーススタディ
第6回 9月30日	変更管理のモデル作成③	ケーススタディ
第7回 11月25日	テクニカルフォーラムの準備	打合せ

[募集メンバー]

10名以上を募りたい。(ただし、最初はスマールスタートとなるのは仕方ないか？？？)
JAVAスタックの運用を行っている方、あるいは導入を検討されている方。

[講師・協力]

JAVAスタックの基礎: SAP-J(エデュケーション部門に協力要請中)

変更管理のモデル作成: SAP-J (フィールドサービス部門に協力要請中、パートナー企業様の協力大歓迎)

参考資料:NWDI導入のステップ



NWDI導入のステップ

1. 事前検討（変更管理プロセス定義、NWDI必要性の判断、開発方法）
2. ソフトウェアの構成の検討
（コンポーネントの分け方、レイヤーの考え方）
3. 変更管理プロセスとの連携を意識した、NWDI関連命名規約の作成
4. レイヤーや次フェーズを意識したNWDIトラック設計
5. 各トラックのランドスケープ設計
6. ハードウェアの見積もりとNWDI環境準備
7. NWDI利用者向け各種運用ルール、手続き、手順書の作成と周知徹底

2008年のテクニカルフォーラムでSAPの甘利様より説明いただいた内容です。
この内容をベースにケーススタディができればいいと考えています。

付録:JAVAスタック研究WG 活動のご紹介

<対象>

JAVAスタック研究WGでは、以下のような参加者を募集しております。

- ・JAVAスタック上にWebアプリケーションを構築しようとしている方。
- ・JAVAスタックの運用で困られている方。
- ・そもそもJAVAスタックとは？お悩みの方。

<活動>

JAVAスタック研究WGでは、以下のような活動を行うことによって、皆さんの悩み／課題を解決していきたいと考えております。

- ・JAVAスタックの基礎学習
- ・ケーススタディによるシステム管理の実体験

JAVAスタックの管理でお困りの方、一緒に悩みを解決しませんか？

ご清聴ありがとうございました。

